



株式会社ウイルテック

東京証券取引所市場第2部

証券コード：7087

2021年3月期第3四半期

決算説明資料

2021年2月10日

ディスクレームー

- **資料内の業績数値について**

当資料に記載する数値は、以下を前提にご覧ください。

監査法人により監査済	2018年3月期 2019年3月期 4Q 2020年3月期 2Q・3Q・4Q 2021年3月期 1Q・2Q・3Q
未監査	2016年3月期、2017年3月期 2019年3月期 1Q・2Q・3Q 2020年3月期 1Q

- **数値に関する注意事項**

当資料については、特段の注記がない限り数字については表示単位未満切捨て、比率、年数及び倍率等については表示単位未満四捨五入して表示しています。

- **見通しに関する注意事項**

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

ウイルテック・グループの事業紹介

- (株)パートナーの子会社化に伴い、当期より**ITサポート事業**を新設

主要事業は3事業から**4事業**へ



EMS事業

- 電子機器の受託製造
- 電子部品卸売



ITサポート事業

(2021/3期3Qより新設)

- ITエンジニア派遣：SE・PG・IT基盤/運用等
- 請負開発：社内開発

その他



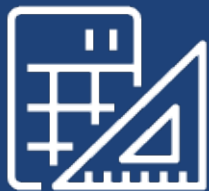
マニファクチャリング サポート事業

- 製造請負・製造派遣
- 機電系技術者派遣
- 修理サービス



コンストラクション サポート事業

- 建設系技術者派遣
- 建設に関する教育・研修サービス



2021年3月期
第3四半期
決算概要

5



2021年3月期
業績予想

12




トピックス

17



APPENDIX

21

A horizontal bar with a blue segment on the left and a green segment on the right.

2021年3月期第3四半期 決算概要

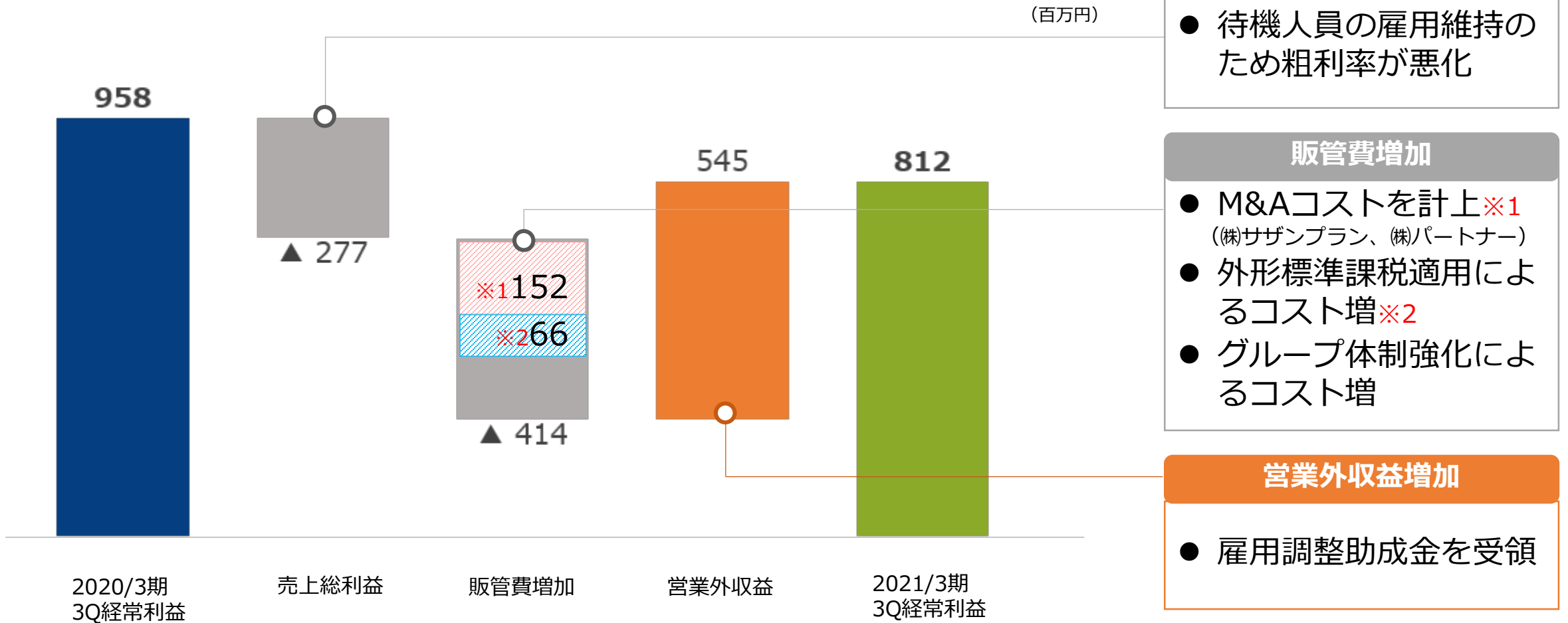
2021年3月期第3四半期決算概要

■ 昨対比割れも、10月以降より徐々に回復基調が見られ減収・減益幅を縮小

(百万円)	2020/3期 第3四半期 実績	2021/3期 第3四半期 実績	前年比	
			増減額	増減率
売上高	18,558	18,148	▲409	▲2.2%
営業利益 (営業利益率)	927 (5.0%)	235 (1.3%)	▲691 (▲3.7p)	▲74.6%
経常利益 (経常利益率)	958 (5.2%)	812 (4.5%)	▲145 (▲0.7p)	▲15.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益 (四半期純利益率)	628 (3.4%)	469 (2.6%)	▲158 (▲0.8p)	▲25.3%
一株当たり四半期純利益 (円)	121.56	75.72	▲45.84	—

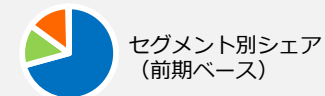
経常利益増減要因分析

■ 第1四半期以降、改善は続き、12月単体では前期を上回るまで回復

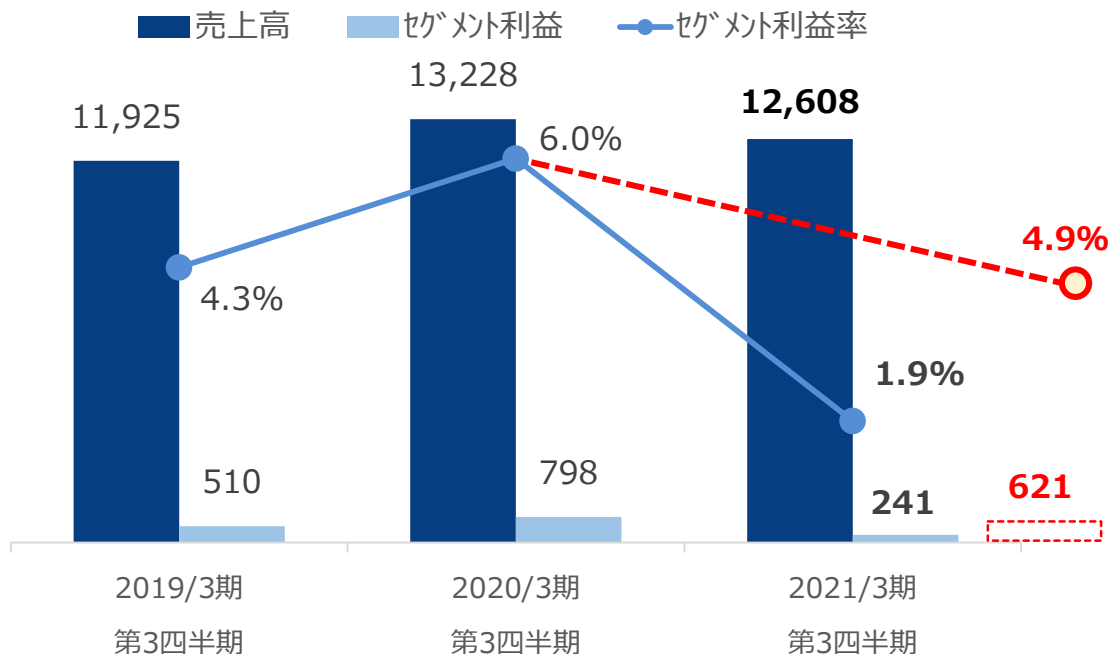


セグメント別業績推移

(単位：百万円)

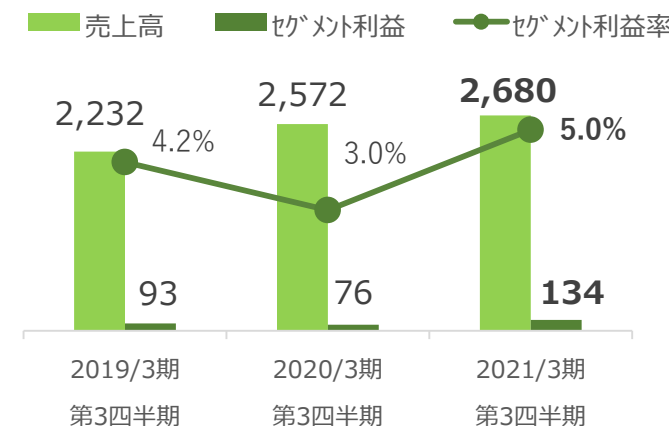


マニュファクチャリングサポート事業



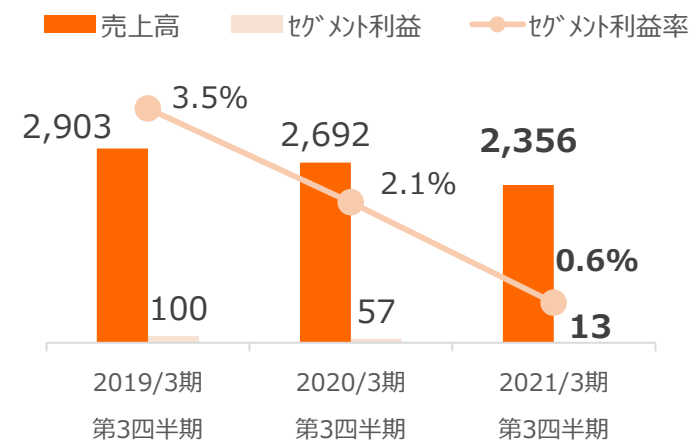
- 製造請負・派遣事業、カスタマーサービス事業は前期並みに回復
 - 技術者派遣事業の回復が遅れるなか、待機人員の配属に注力
- ※赤点線：雇用調整助成金を入れたセグメント利益とセグメント利益率

コンストラクションサポート事業



- 単価見直し、原価改善に注力したことで対前年同期比増益を達成

EMS事業



- 国内企業の設備投資縮小の傾向が続き、回復に時間を要す

セグメント別業績 マニファクチャリングサポート事業

■ 5G関連やテレワークの拡大と相まってIoT関連等の受注好調により減収幅を縮小

(百万円) (括弧内：構成比)	2020/3期 第3四半期	2021/3期 第3四半期	前期比	
			増減額	増減率
電子部品・デバイス・ 電子回路製造業	3,648 (27.6%)	2,985 (23.7%)	▲662	▲18.2%
情報通信機械器具 製造業	2,971 (22.5%)	3,415 (27.1%)	+443	+14.9%
電気機械器具製造業	1,788 (13.5%)	1,925 (15.3%)	+136	+7.6%
その他	4,819 (36.4%)	4,282 (34.0%)	▲536	▲11.1%
合計	13,228 (100%)	12,608 (100%)	▲618	▲4.7%

電子部品・デバイス・ 電子回路製造業

前期比 ▲18.2%



テレワークの拡大を受け、半導体が通信機械器具へまわったこともあり、海外向けの半導体製造装置の大幅減産や車載関連の減産が影響

情報通信機械器具製造業

前期比 +14.9%



テレワーク拡大も相まってIoT及び5G設備関連企業への受注が好調

その他

前期比 ▲11.1%



輸送用機械製造（自動車産業）の大幅な減産や生産用機械器具製造（特に産業用）が減産し、産業用機械器具製造の回復が遅れている

セグメント別業績 コンストラクションサポート事業

■ コロナ禍にあって、建設設備の入れ替え需要などが堅調なため、緩やかながらも成長を維持

(百万円) (括弧内：構成比)	2020/3期 第3四半期	2021/3期 第3四半期	前期比	
			増減額	増減率
人財サービス事業	2,565 (99.7%)	2,645 (98.7%)	+80	+3.1%
(内建築分野)	1,051 (40.9%)	1,013 (37.8%)	▲38	▲3.6%
(内建築設備分野)	1,123 (43.6%)	1,263 (47.1%)	+140	+12.5%
(内その他分野)	391 (15.2%)	369 (13.8%)	▲22	▲5.6%
請負・受託事業	7 (0.3%)	35 (1.3%)	+28	+400%
合計	2,572 (100%)	2,680 (100%)	+108	+4.2%

建築分野

前期比 ▲3.6%



- コロナ影響での新規着工の遅れや着工の見合わせにて人材需要が減少し、新規派遣の停滞及び解約増加の状況から緩やかな回復傾向ではあるが、なお厳しい
- 契約単価向上による原価改善により収益性が改善している

建築設備分野

前期比 +12.5%



- 少なからずコロナ影響による人材需要の減少はあるものの、絶対数が不足していたため、成長が鈍化するも他分野に比較し堅調に推移している
- 空調衛生が高いウェイトを占めるリニューアル工事は、比較的堅調
- 契約単価向上による原価改善により収益性が改善している

セグメント別業績 EMS事業

- 国内において設備投資の不透明感が高く、在庫調整が長引く

(百万円) (括弧内：構成比)	2020/3期 第3四半期	2021/3期 第3四半期	前期比	
			増減額	増減率
デバイス	1,431 (53.2%)	1,209 (51.3%)	▲222	▲15.5%
ユニット	1,261 (46.8%)	1,147 (48.7%)	▲114	▲9.0%
合計	2,692 (100%)	2,356 (100%)	▲336	▲12.5%

デバイス

前期比 ▲15.5%



物流設備や医用機器関連の在庫調整およびインフラ投資に伴う特需案件不足により販売が低迷

ユニット

前期比 ▲9.0%



自動販売機や繊維機械、プレス機、物流・搬送など、設備関連メーカーの生産調整が大きく影響、一方ではプラス要因として、半導体製造装置関連の受注が回復傾向



2021年3月期 業績予想

事業環境認識と顧客ニーズ

マニュファクチャリング サポート事業

	業界	4Q以降の需要見通し (3Qとの比較)	人財ニーズ・事業機会
製造請負・ 製造派遣事業	輸送用機械	○	自動車分野で一部の国内販売車種向け部品が増産傾向
	情報通信・半導体	◎	5G関連は増産傾向が継続。引き続き急な増産体制への対応や人財確保が必要。採用困難地域での人財確保に注力
	生産用機械	△	海外渡航制限における渡航条件の緩和如何により増減産が左右
機電系技術者 派遣事業	IT	○	RPAやDX、非対面に関連した技術をはじめウィズコロナ、ポストコロナで必要な技術領域で事業機会が拡大
	自動車	△	自動車製造に係る開発予算や外部人材は、引き続き抑制的。EV対応や電動化技術には商機
	半導体	◎	5G関連中心に投資は拡大見込み。半導体製造装置各社から電気電子技術者やFE（基本情報技術者）等の人財需要が増加
修理サービス 事業	業務用機器・設備	△	緊急事態宣言再発令により、首都圏内の店舗向け業務用機器の導入・設置案件のペンディングや納期の後ズレが懸念
	太陽光発電	○	緊急事態宣言再発令により、一部地域における業務の停滞が予想されるものの、O&Mなどのニーズは今後活性化

事業環境認識と顧客ニーズ

	業界	4Q以降の需要見通し (3Qとの比較)	人財ニーズ・事業機会
コンストラクション サポート事業	建設	△	上期に続き新規建設プロジェクトの着工時期変更や計画見直しがあり、人材需要は低い。緊急事態宣言の再発令により、回復がさらに遅れる懸念
	建設設備	△	建築設備技術者の潜在的な需要は依然高い。新型コロナウイルスの感染再拡大により、回復は一時停滞する可能性
	請負・受託事業	△	リニューアル工事は比較的堅調で、大型工事を受注見込み。新型コロナウイルスの感染再拡大により、着工時期に後ズレ懸念
ITサポート事業	情報通信	○	本格的な復調基調はこれからだが、年度末に向けて延期されていたプロジェクトが始動するケースが出始めている。要求分析・要件定義などの上位フェーズから、詳細設計・プログラミングなどの下位フェーズ業務が増加傾向
	サービス業、その他	△	サービス業の業況感は依然厳しいものの、4Qに向けて少しずつ改善の兆し
EMS事業	設備（織機、工作機械、物流設備）	△	上期に引き続き生産調整が継続され、先行きは依然不透明
	設備（半導体製造装置）	○	在庫の適正化が進んでいる上、中国で設備投資案件が増加。計画から上振れする見込み。コストダウンの要求があるため、原価改善と開発強化の両立が必要
	設備（医療機器）	△	在庫調整が進んでいたが、欧州での新型コロナウイルス感染拡大の影響や中国での需要増に伴う材料の入手困難などにより、不透明感あり

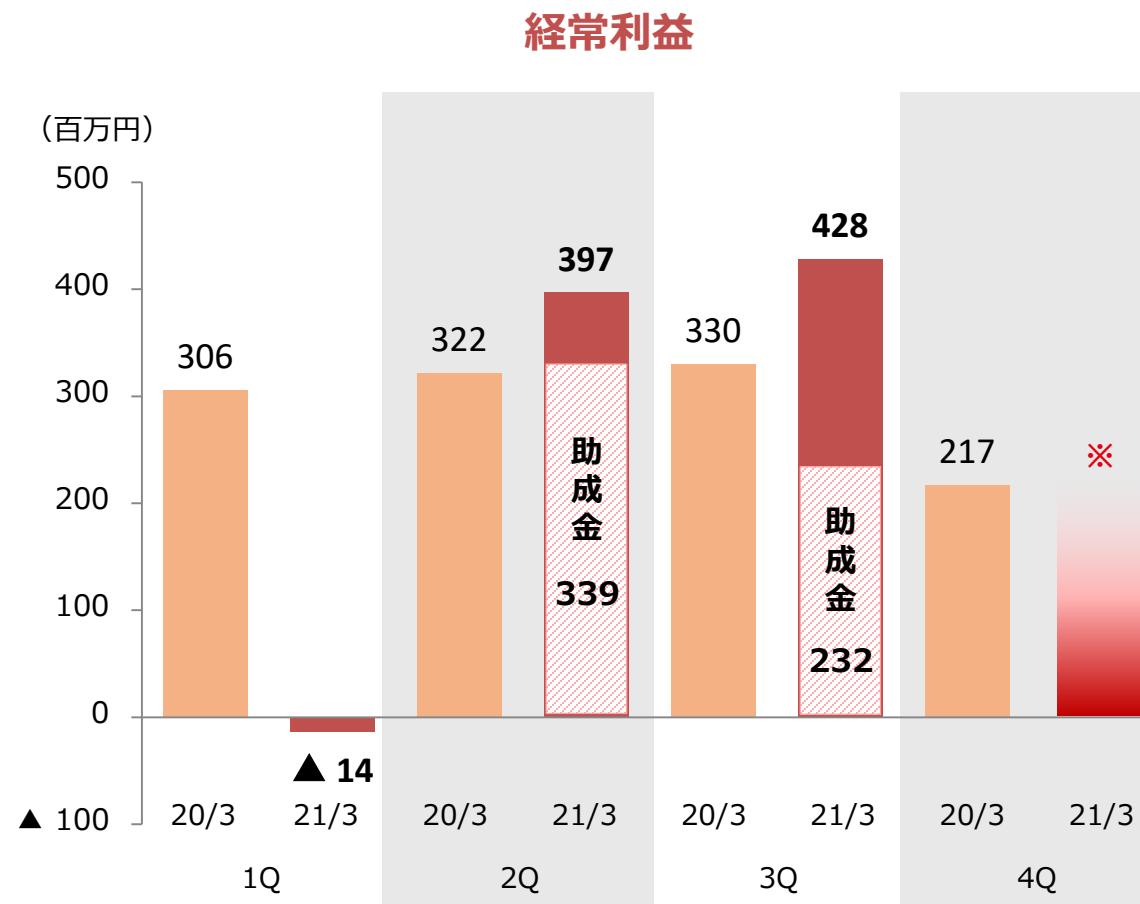
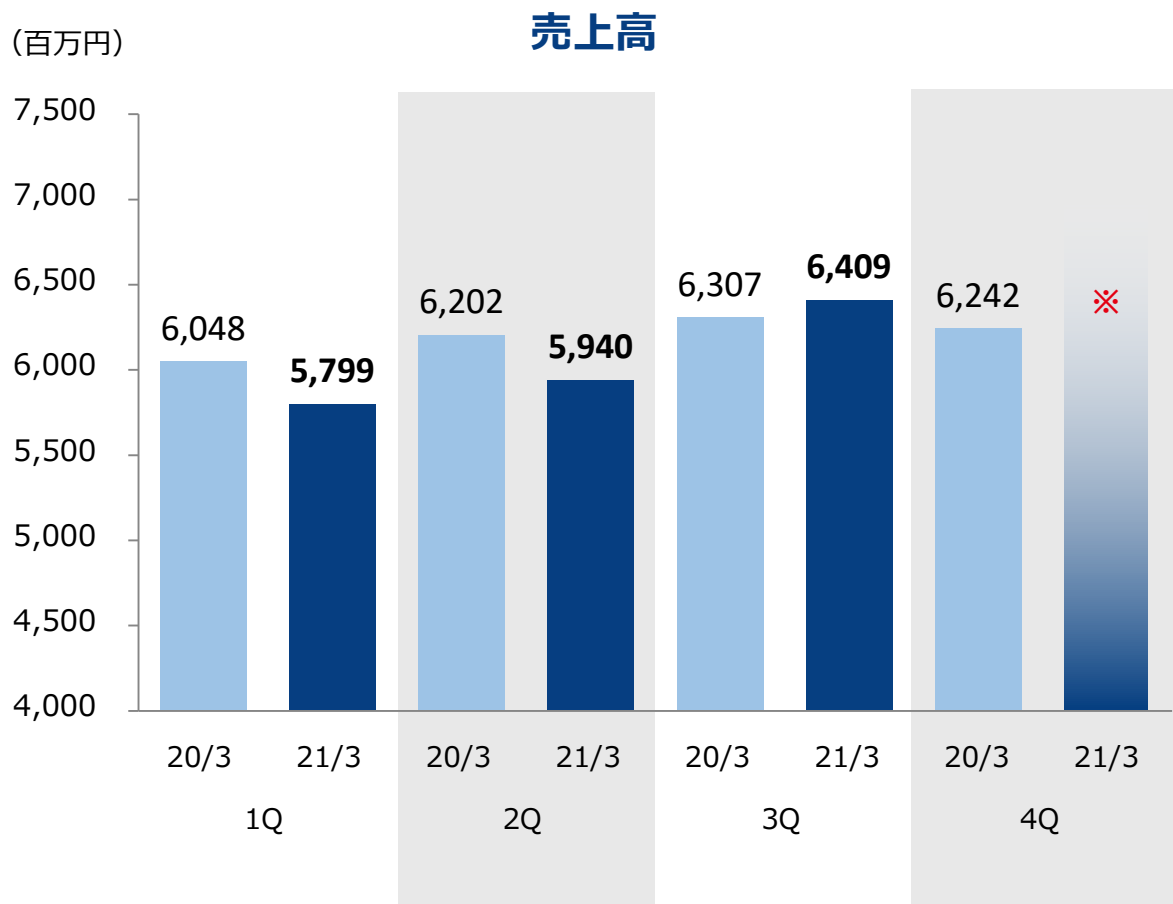
2021年3月期業績推移と予想

(百万円)	2020/3期 3Q実績	2021/3期 3Q実績	前年比	2020/3期 通期実績	2021/3期 通期予想 (2020/8/11発表)	前年比	進捗率 (3Q/通期予想)
売上高	18,558	18,148	▲2.2%	24,800	25,064	+1.1%	72.4%
営業利益	927	235	▲74.6%	1,129	353	▲68.8%	66.8%
経常利益	958	812	▲15.2%	1,175	734	▲37.6%	110.7%
親会社株主に帰属する 四半期・当期純利益	628	469	▲25.3%	765	478	▲37.5%	98.2%
一株当たり四半期・ 当期純利益 (円)	121.56	75.72	—	146.14	76.96	▲69.18	—

2021年3月期業績推移と予想（四半期単位）

【売上高】 マニュファクチャリング・サポート事業の堅調な成長もあり、3Q期間で見れば昨対比1.6%の増収

【経常利益】 利益回復傾向+助成金活用もあり、3Q期間で見れば昨対比29.7%の増益



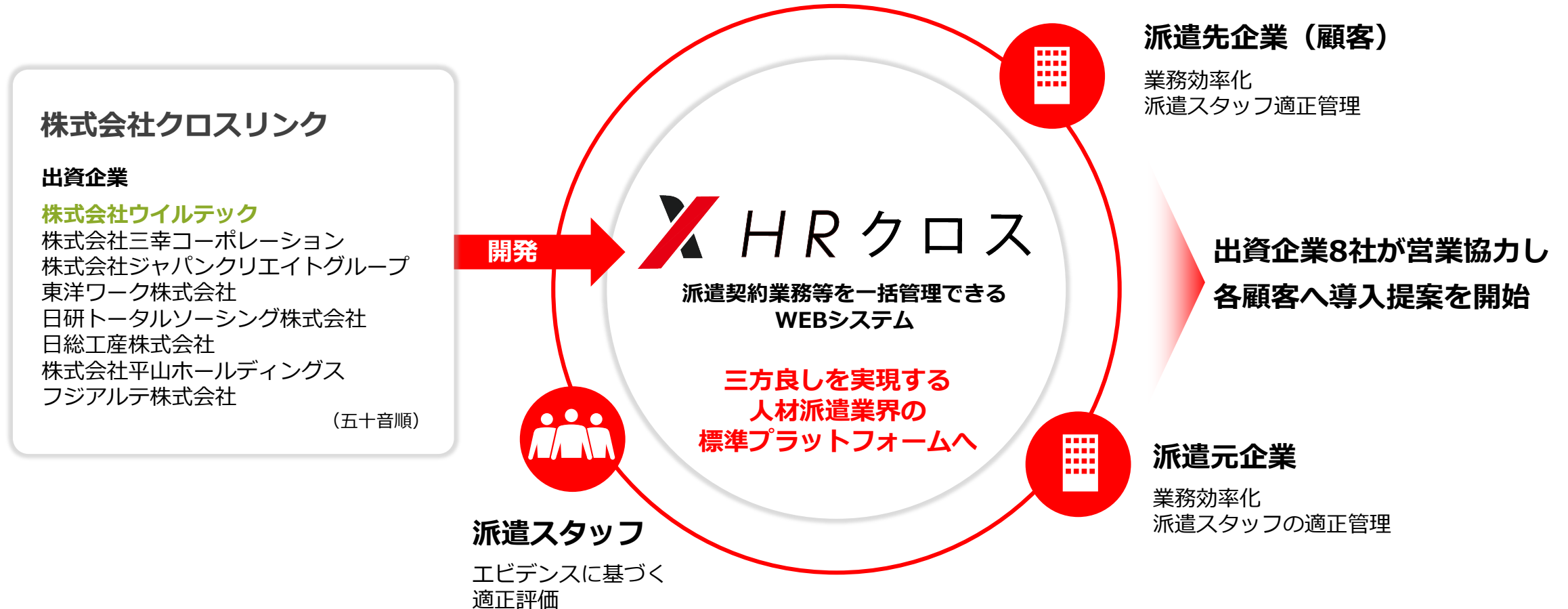
※2021.3期4Qの売上高と経常利益は、緊急事態宣言の影響を精査中



トピックス

派遣業界の標準プラットフォームシステムに共同出資①

- 当社を含め人材派遣業務を行う8社が共同出資する株式会社クロスリンクが、派遣契約業務等を一括管理できるWEBシステム「HRクロス」を開発。派遣業界の新たな標準プラットフォームを目指し、4月から提供を開始
- 当社は「HRクロス」の展開に際して営業協力し、顧客である派遣先企業様を皮切りに導入提案を行い業務効率化を推進



HR クロス

開発背景

「同一労働同一賃金」の導入や新型コロナウイルスの感染拡大に伴う、派遣先・派遣元の大幅な業務の変更、業務環境の変化

特徴

DX化

帳票や勤怠、請求書を派遣会社ごとに合わせたフォームで作成、管理が可能。紙資料から脱却へ

エビデンス・評価が簡単・確実

- 評価等のエビデンスをweb上で記録、派遣先企業はいつでも確認可能
- 現場や総務の方がスムーズに入力できる業界標準の統一した評価フォーマットを用意

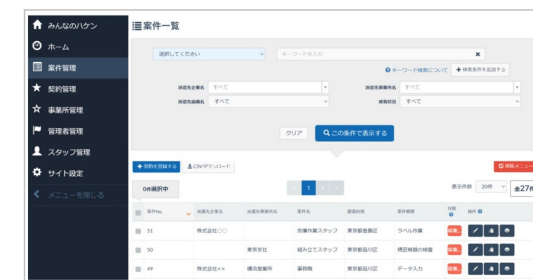
定期的に改定される派遣法への対応

数年に一度改定される派遣法改正および様々な法改正に対してクラウドサービスの利点として随時適切にアップデート対応

派遣先（メーカー・工場）・派遣元双方の大幅な工数削減により業務効率化を実現

機能

- 派遣受発注・管理
- 派遣契約締結・管理
- 派遣スタッフ評価一元管理
- 36協定等情報管理
- 請求情報管理
- 各種勤怠データ取込・連携



派遣元利用画面イメージ

中期経営計画を今春公表

当社は現在、中期経営計画を策定中。
2022年3月期～2025年3月期の4力年計画です。
今春の公表を予定しております。

A horizontal bar with a blue segment on the left and a green segment on the right.

APPENDIX

“ものづくり”を支援する会社

不易流行。私たちは創業来、
現場志向の発想を大切にしながら
ものづくりをご支援してきました。
スピードが増すニーズの変化にあわせ、
技術を絶え間なく進化させてきました。
ぶれない軸と挑戦の心を胸に
日本のものづくりの競争力向上に
貢献していきます。

代表取締役社長
宮城 力



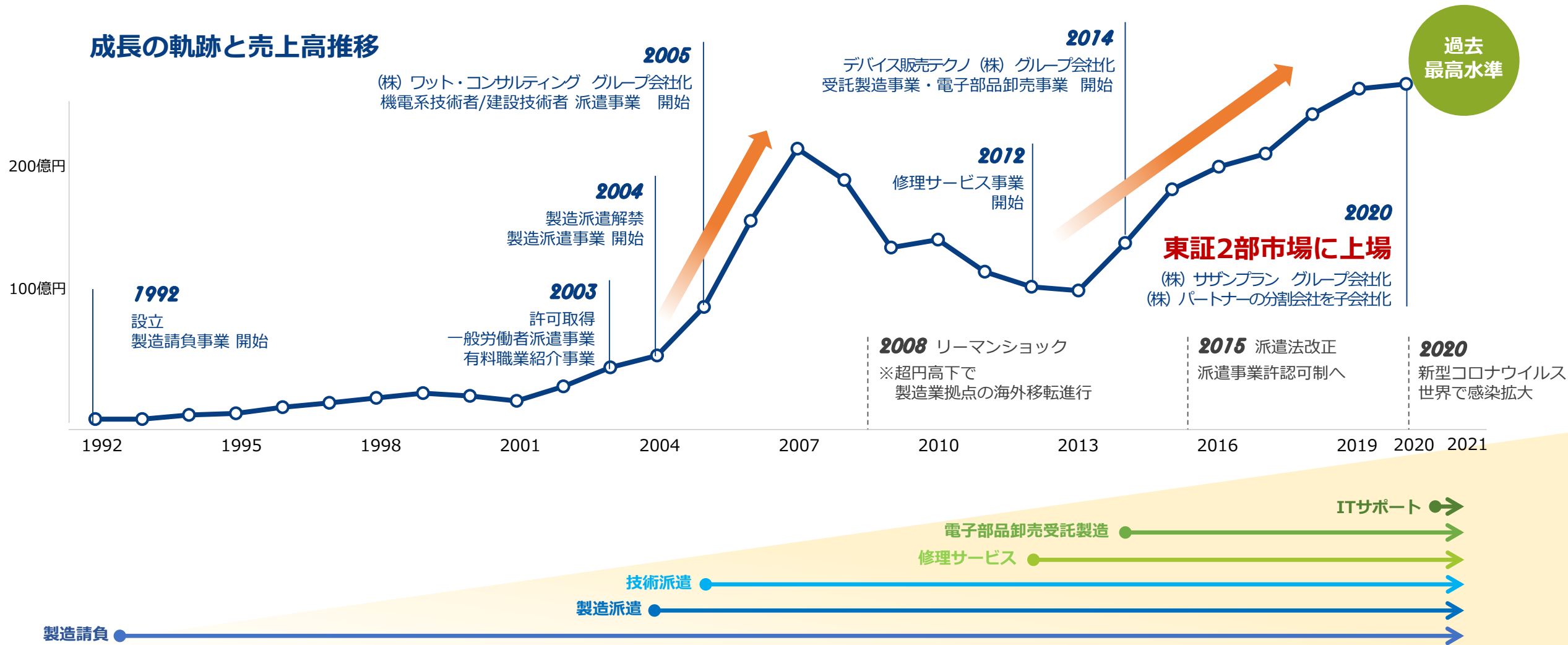
会社概要

社名	株式会社ウイルテック（英文表記：WILLTEC Co.,Ltd.）			
代表者	代表取締役社長 宮城 力			
設立年月日	1992年(平成4年) 4月			
本社所在地	〒532-0002 大阪府大阪市淀川区東三国4丁目3番1号			
資本金	126,050,000円（2020年12月末時点）			
役員構成	取締役会長 代表取締役社長 常務取締役 取締役 取締役	小倉 秀司 宮城 力 野地 恭雄 西 隆弘 渡邊 剛	取締役 取締役（監査等委員） 社外取締役（監査等委員） 社外取締役（監査等委員）	石井 秀暁 京崎 利彦 麻田 祐司 見宮 大介
事業内容	製造請負/製造派遣/技術者派遣/受託製造/電子部品卸売/修理サービス/海外人材育成など			
売上規模	24,800百万円（連結/2020年3月期）			
従業員数	5,254名（連結/2020年12月末時点）※平均臨時雇用者含む			
グループ会社	株式会社ワット・コンサルティング デバイス販売テクノ株式会社 株式会社ウイルハーツ WILLTEC VIETNAM Co.,Ltd. WILLTEC MYANMAR Co.,Ltd. 株式会社サザンプラン 株式会社パートナー			

沿革

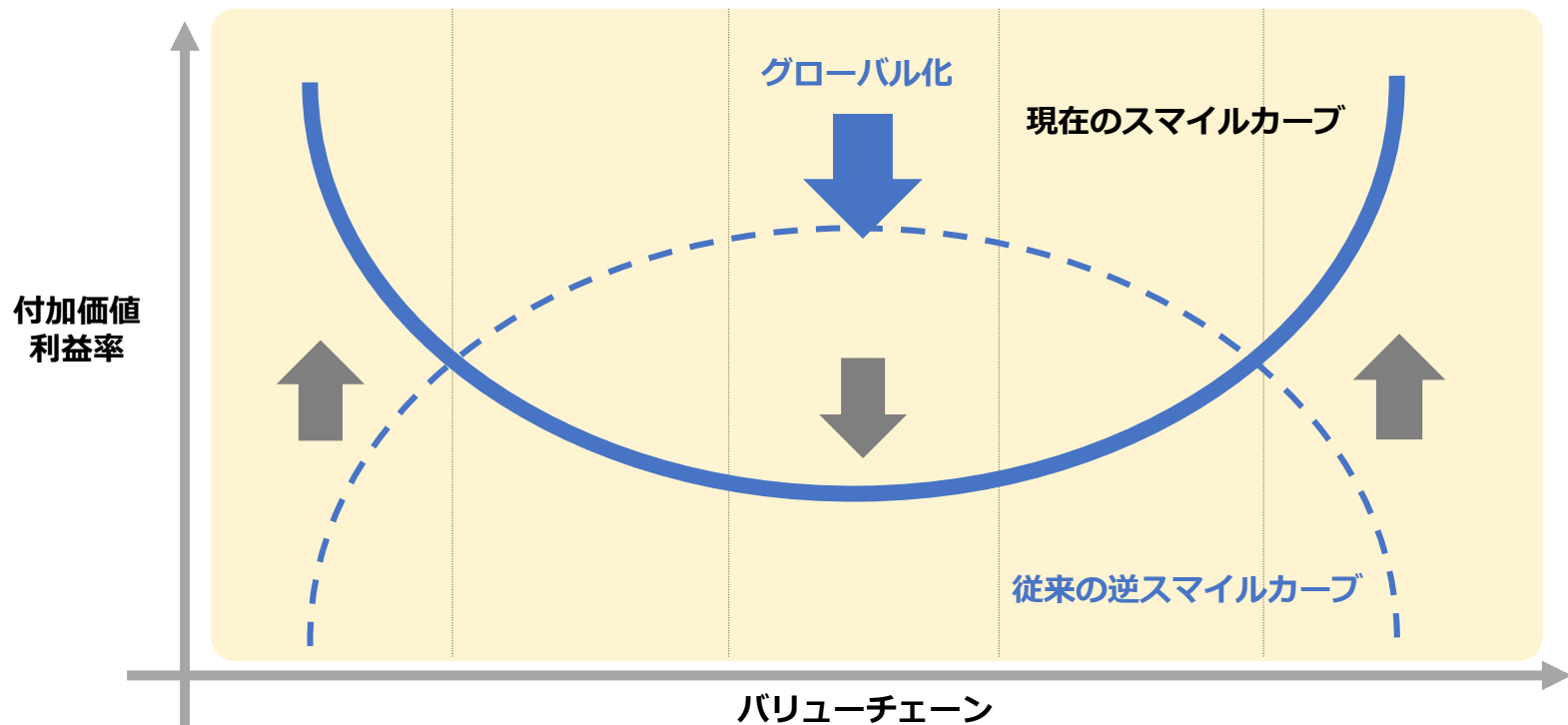
■ スタートは製造請負。業務領域と売上規模の拡大を追求し、現在売上高は過去最高水準に到達

成長の軌跡と売上高推移



当社グループのサービス提供価値

メーカーのバリューチェーンと変化



当社の重点領域



企画



開発・設計



製造・組立



流通・販売



メンテナンス・
アフターサービス



メーカーが抱える課題

スマイルカーブ
先鋭化への対応



危機耐性のある
バリューチェーンの
構築

当社の提供サービス

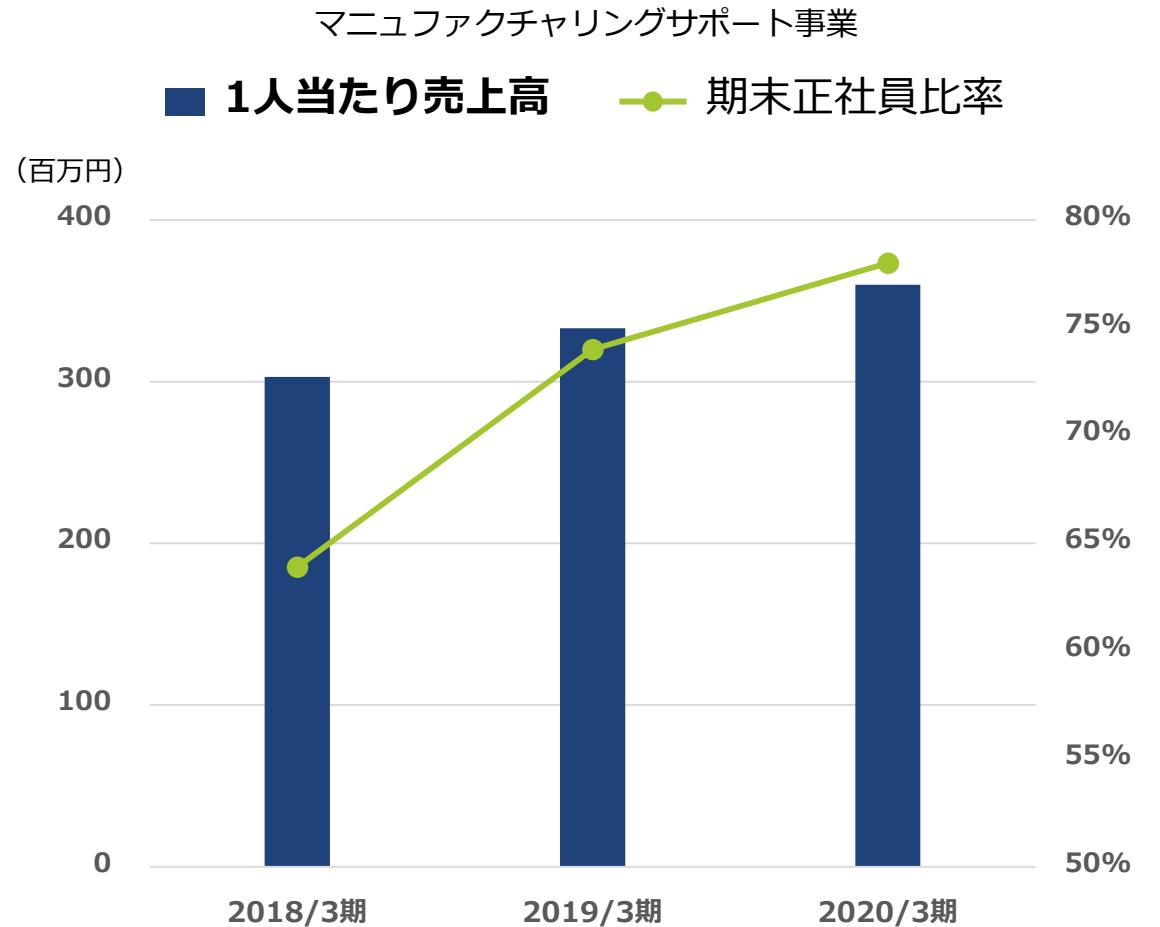
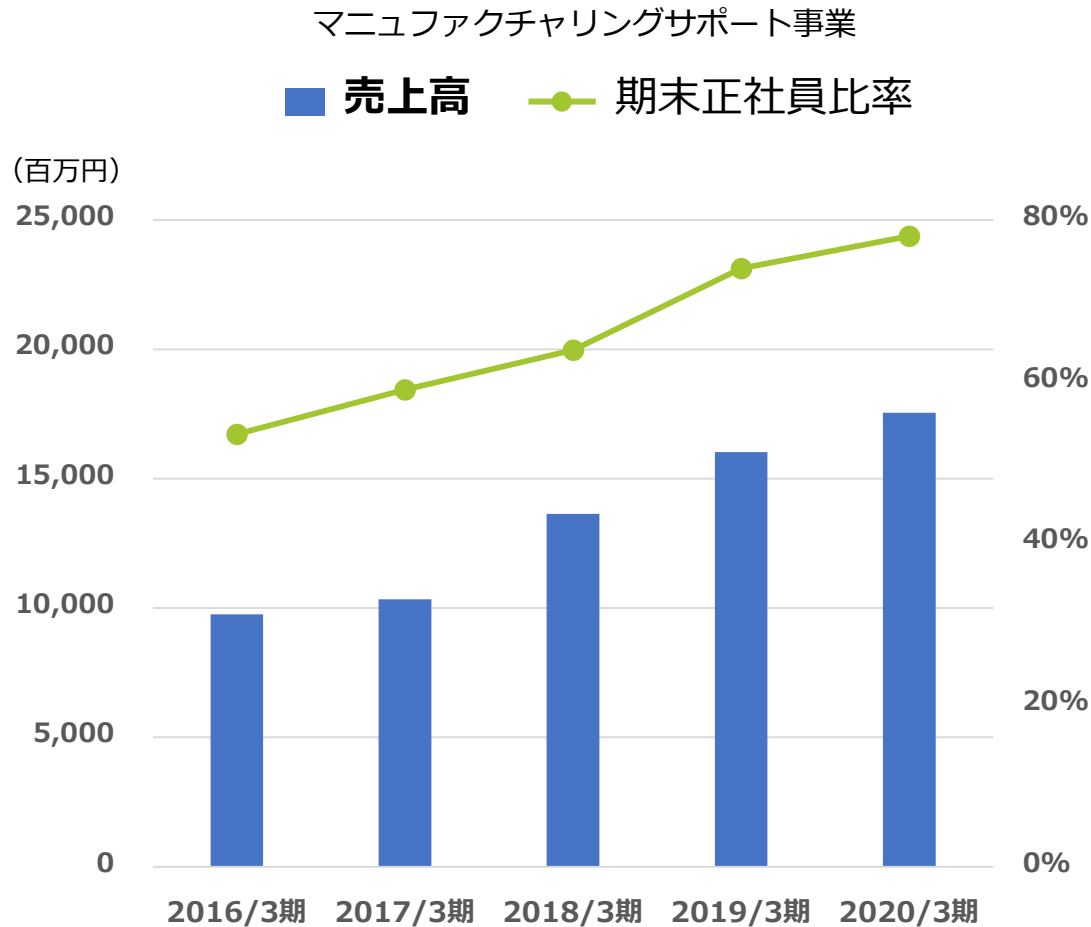
中流工程のアウトソーシングニーズを起点に周辺領域を含む
ワンストップ・パッケージ提案



国内回帰等による**安定的な**
バリューチェーンの構築に寄与する
迅速かつ柔軟なソリューション提供

当社グループの強み① 人財基盤

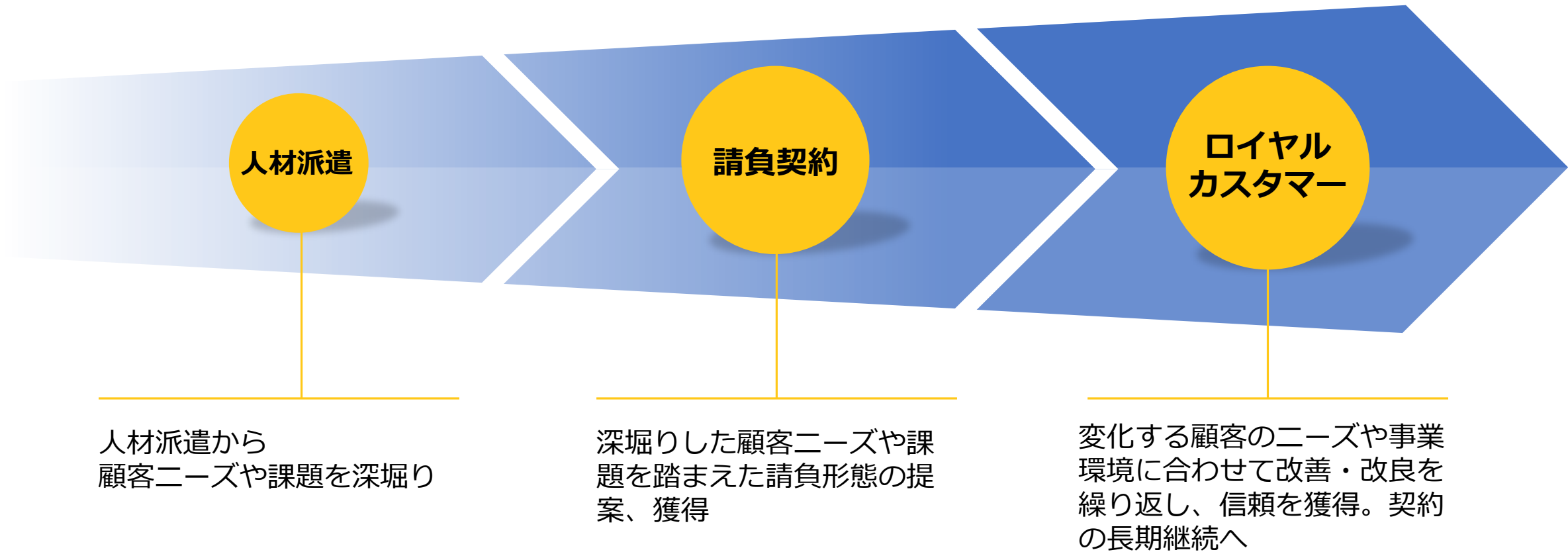
創業来「人財が成長基盤」と認識し、人財に積極投資。着実な業績向上を実現



※2016/3期、2017/3期は単体売上高

当社グループの強み② 長期顧客化

顧客ニーズの深掘りで信頼を獲得。契約継続年数は年々増加傾向



当社グループの強み③ 改善の社風

改善一番 Kaizen 1st

ベストプラクティスを共有

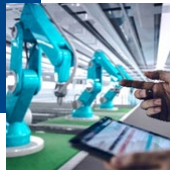
- 現場改善のベストプラクティスの共有と社員のモチベーション向上を目的に、2006年から毎年開催
- 製造現場のチームだけでなくバックオフィスのチームも参加し、全社的なイベントに成長
- このイベントが、各現場における改善提案の促進に貢献。生産効率、業務効率の向上に大きな成果



■ 当社（株ウイルテック）が製造請負・製造派遣、機電系技術者派遣、修理サービスをご提供

機電系技術者派遣事業

産業機械・装置メーカー、民生機器メーカー等に対して、設計関連に習熟した技術を持つ人材を派遣し、機械、電気・電子、ソフトウェア等に関する開発、設計を実施。未経験者への基礎研修や経験者への応用研修を行う研修センターを東京と大阪に設置

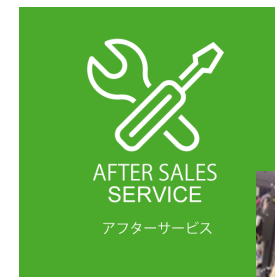


製造請負・製造派遣事業

製造請負 メーカーに対して、当社の生産技術力、品質管理力、労務管理力をもって

製造・加工・検査等を行い、成果物を納品

製造派遣 メーカーを中心に、当社の従業員を派遣し、製造・加工・検査等を実施



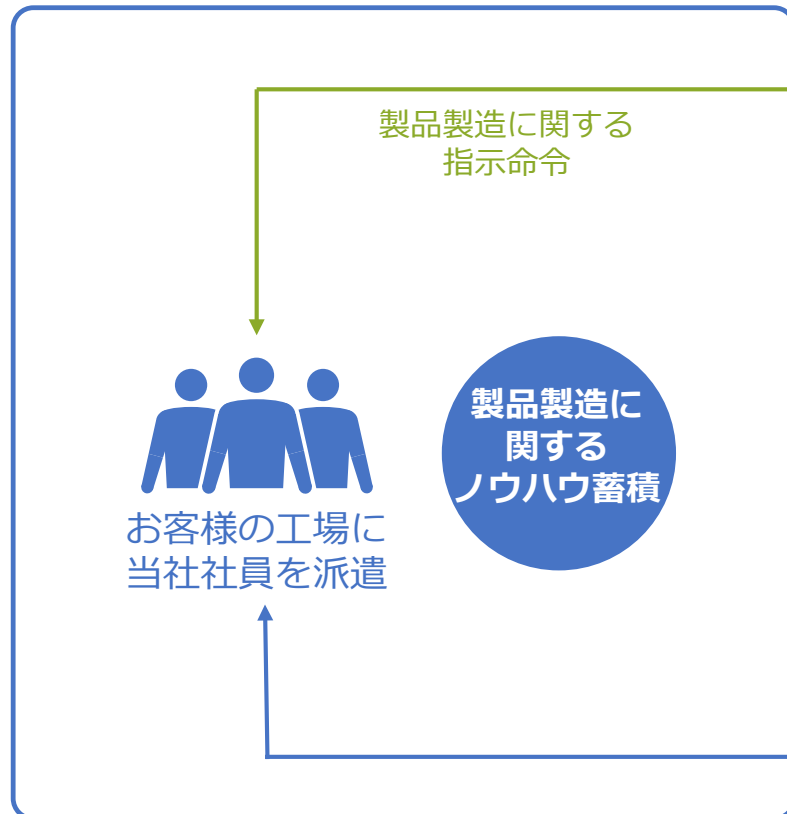
修理サービス事業

法人を顧客として、主に電源設備や電気機器の訪問修理や付帯するコールセンターの受託運営等を実施

■ 当社製造派遣・製造請負の流れ

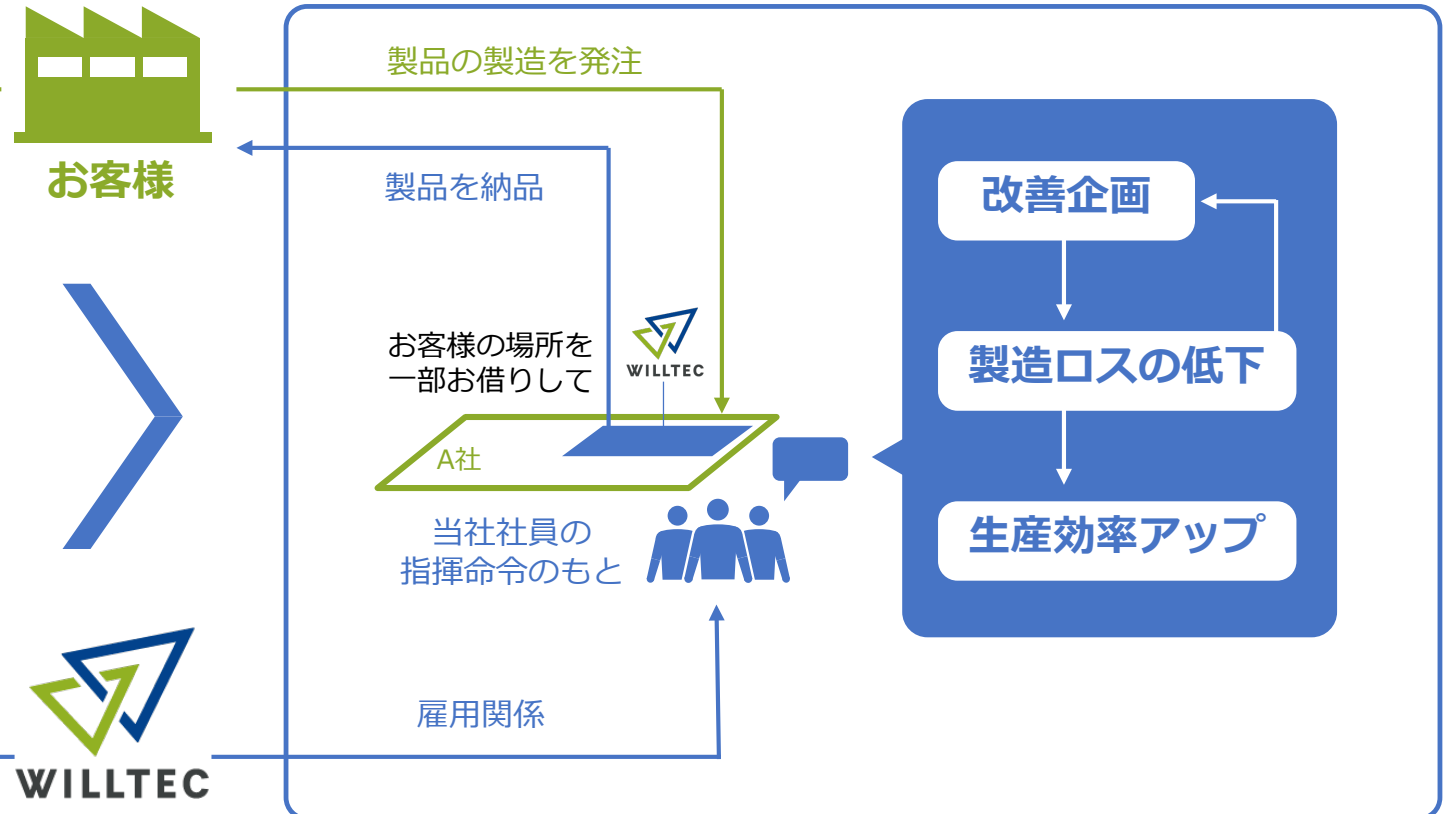
STEP1

製造派遣 売上 = 人数 × 時間単価



STEP2

製造請負 売上 = 納品数 × 製品単価



- 連結子会社である株式会社ワット・コンサルティングが建設系技術者派遣を実施

建設業界の発展に貢献すべく、3事業を軸に展開

人材サービス事業



建設プロジェクトを自分たちの仕事として捉え、「建築」「建築設備」「土木」「プラント」のフィールドを支える優秀な技術者を派遣し、業務遂行をサポートいたします。また、雇用リスクを低減できる紹介予定派遣、人材紹介も行っています。

建設事業



建築における電気設備工事の設計、施工及び請負の事業を行っています。電気設備技術者のOJTによる育成も積極的に取り組んでいます。

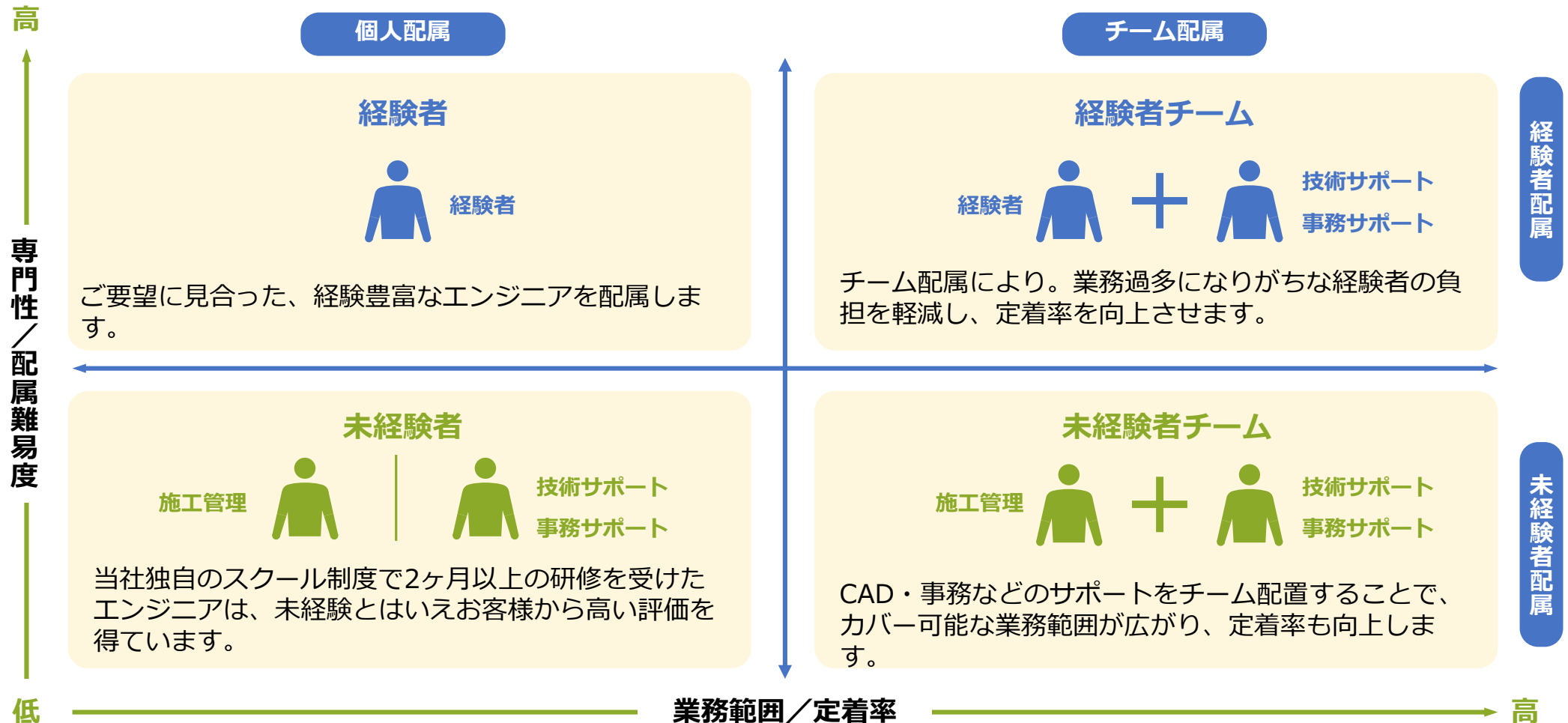
教育研修事業



鉄道会社様、ゼネコン様、設備系サブコン様をはじめ、建設系企業様より自社研修センターにおける若年技術者向けの技術研修やCAD研修などの受託も行っています。

- 経験者配属をはじめ、定着率が高いチーム配属など、お客様ニーズを満たすさまざまな配属提案を行っています。

配属提案のイメージ



■ 連結子会社であるデバイス販売テクノ株式会社が受託製造、電子部品卸売を実施



受託製造事業

コストも重視し、必要機能に特化して
効率の良いユニットの開発・製造受託

制御



基板



通信



電源



国内工場（福島県）主要設備

品質保証体制ISO9001

環境保全活動ISO14001



電子部品卸売事業



システム機器



リレー



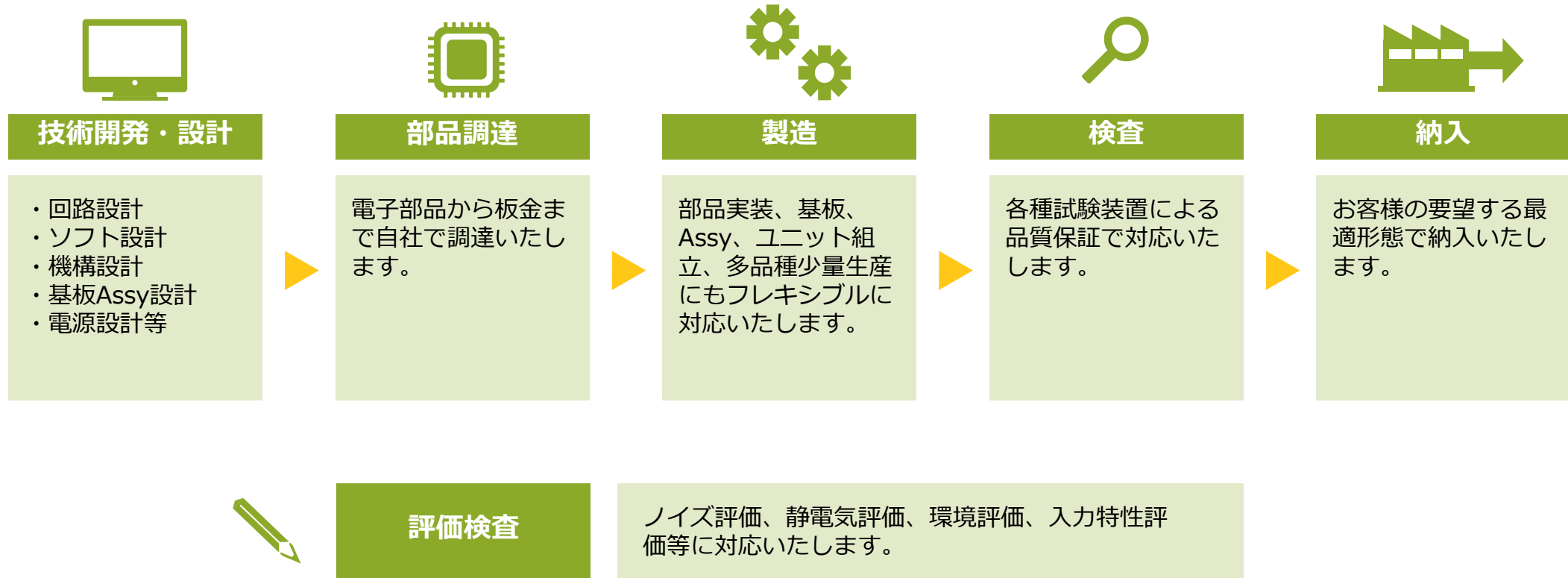
コネクタ



サーボモータ



お客様専用仕様による設計開発から納入まで一気通貫のものづくりで、ニーズにお応えします





本資料に関するお問い合わせ先

情報統括部 広報・IR課 IR担当

ir@willtec.jp